



第204号

(昭和55年8月・9月)

目次

関係法令..... 1	富山大学文書決裁規則の一部改正..... 10
学内規則..... 1	富山大学における事務の委任に関する規則の制定..... 11
富山大学学則の一部改正..... 1	諸会議..... 12
富山大学経済学部規則の一部改正..... 2	人事異動..... 12
富山大学工学部規則の一部改正..... 8	学内諸報..... 13
富山大学教養部規則の一部改正..... 9	職員消息..... 17
	主要日誌..... 18

関係法令

(官報掲載月日)

政令

- 予算決算及び会計令及び予算決算及び会計令臨時特例の一部を改正する政令 (233) 8・30

省令

- 契約事務取扱規則等の一部を改正する省令 (大蔵36) 8・30
- 郵便規則の一部を改正する省令 (郵政25) 9・22
- 国家公務員共済組合法施行規則の一部を改正する省令 (大蔵38) 9・29
- 学校教員統計調査規則の一部を改正する省令 (文部26) 9・29

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令 (文部27) 9・29

- 日本育英会が行なう貸与金回収業務の方法に関する省令の一部を改正する省令 (文部28) 9・29

告示

- 昭和56年度科学研究費補助金の計画調書の提出期間を定める件 (文部165) 9・20

学内規則

富山大学学則の一部改正

富山大学学則の一部を改正する学則を次のとおり制定する。

昭和55年9月19日

富山大学長 柳田 友道

富山大学学則の一部を改正する学則

富山大学学則（昭和25年1月20日制定）の一部を次のように改正する。

第30条を次のように改める

第30条 他の大学に入学又は転学を志願しようとする者は、あらかじめその理由を付し、学部長又は教養部長を経て、学長の許可を受けなければならない。

第30条の2を削る。

附 則

この学則は、昭和55年9月19日から施行する。

富山大学経済学部規則の一部改正

富山大学経済学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和55年9月19日

富山大学長 柳田 友道

富山大学経済学部規則の一部を改正する規則

富山大学経済学部規則（昭和50年6月27日制定）の一部を次のように改正する。

第1条を次のように改める。

（趣 旨）

第1条 この規則は、富山大学学則第4条第2項の規定に基づき、富山大学経済学部（以下「本学部」という。）の授業科目、履修方法、試験、卒業及び聴講生等に関する事項を定める。

第2条中「経営学科」の下に「経営法学科」を加える。

第3条の見出しの「(授業、履修方法)」を「(授業科目及び履修方法)」に改める。

第3条中「授業科目は」を「授業科目は、」に改める。

第4条中「履修期間は」を「履修期間は、」に改める。

第6条及び第7条を次のように改める。

第6条 専門教育科目に関する授業科目及び単位数は、別表第1のとおりとする。

第7条 単位の修得方法については、別表第2のとおりとする。

第8条のただし書きを削る。

第11条中「得なければならない」を「受けなければならない」に改める。

第12条中「学部長は」を「学部長は、」に改める。

第13条の見出しの「(試験、課程の修了認定)」を「(試験及び課程の修了認定)」に改め、同条第2項中「試験は」を「試験は、」に改める。

第14条第1項中「試験終了後」を「当該科目の試験終了後」に改め、同条第2項を次のように改める。

2 追試験の方法等については、教授会において定める。

第15条中「可、不可」を「可及び不可」に、「表わし」を「表し」に、「合格、」を「合格とし、」に改める。

第18条の見出しの「(転学部、転学科、転入学、編入学)」を「(転学部、転学科、転入学及び編入学)」に、同条中「選考のうえ」を「選考の上」に改める。

第20条第1項中「別表(2)」を「別表第3」に改め、同条第2項中「履修方法、試験、課程」を「授業科目の履修方法及び試験並びに課程」に改める。

第21条中「選考のうえ」を「選考の上」に改める。

第24条を次のように改める。

第24条 聴講生から教育職員免許法に基づく単位修得の認定について願い出があったときは、試験に合格した科目につき、審査の上単位を認定することができる。

第26条第1項中「履修しようとするときは、」を「履修しようとする学生は、」に、「得なければならない。」を「受

けなければならない。」に改め、同条第2項中「本学部の単位として認定する」を「30単位を限度とし、本学部の単位として認定することができる。」に改める。

第28条中「初め」を「始め」に改める。

第30条の次に次の1条を加える。

(教員免許状)

第31条 教員免許状授与の所要資格を取得しようとする者は、その授与を受けようとする免許状の種類に従い、別に定める所定の授業科目の単位を修得しなければならない。

別表(1)を次のように改め、別表第2を次のように加え、「別表(2)」を「別表第3」に改める。

(次のようは、別添のとおり)

附 則

- 1 この規則は、昭和55年10月1日から施行する。
- 2 この規則の施行日前において、すでに専門教育課程へ移行している者については、なお従前の例による。



別表第1

授業科目及び単位数

経済学科

系列	授 業 科 目				単 位 数				系列	授 業 科 目				単 位 数			
	開	設	必 修	選 択	必 修	選 択	必 修	選 択		開	設	必 修	選 択	必 修	選 択		
経済学	経済原論一	経済原論 I	4		4				経営環境論	経営史論	4				4		
		数理経済学	4				4			経営構造論	4				4		
		資源経済学	4				4			産業公害論	4				4		
		経済変動論	4				4			社会システム分析論	4				4		
	経済原論二	経済学 II	4		4				国際経営論	国際金融論	4				4		
		世界経済論	4				4			国貿易論	4				4		
	経済史	現代経済分析	4				4		人事管理論	国際投資論	4				4		
		経済史総論	4				4			多国籍企業論	4				4		
	経済学	経済史	西洋経済史	4				4	経営実務論	労務管理論	4				4		
			日本経済史	4				4		経営社会学	4				4		
経済政策		経済政策総論	4				4	経営実務論	人間関係論	4				4			
		社会政策	4				4		経営実務総論	4				4			
		農業政策	4				4		経営機械化論	4				4			
		工業政策	4				4		電子計算機論	4				4			
金融論	金融政策論	4				4	基礎法	貿易実務論	4				4				
	金融行政論	4				4		商英語	2				2				
財政学	財政学総論	4				4	基礎法	コンピュータ実習	2				2				
	地方財政論	4				4		公法総論	4				4				
統計学	統計学総論	4				4	基礎法	私法総論	4				4				
	計量経済学	4				4		刑法総論	2				2				
経済地理学	経済地理学	4				4	基礎法	外国法総論	4				4				
	日本産業論	4				4		行政法	4				4				
経済学	海外経済事情	4				4	財産法	民法総論	4				4				
	経営学総論	4			4			不動産法	4				4				
経営学	経営組織論	4			4		財産法	契約法	4				4				
	経営管理論	4			4			損害賠償法	4				4				
経営学	経営財務論	4			4		財産法	債権法	4				4				
	企業論	2			2			企業関係法	4			4					
経営学	流通総論	4			4	法	企業関係法	商取引法	4			4					
	マーケティング論	4			4			法	商保法	4			4				
経営学	物流論	2			2	法	企業関係法		海商法	4			4				
	倉庫論	2			2			法	有価証券法	4			4				
経営学	リスク・マネジメント論	4			4	法	企業関係法		証券取引法	2			2				
	保険論	4			4			法	倒産関係法	4			4				
経営学	交通論	4			4	法	企業関係法		民事訴訟法	4			4				
	会計学	4			4			法	強制回収法	4			4				
経営学	簿記学	4			4	法	企業関係法		企業整理法	4			4				
	業務会計	2			2			法	社会法	4			4				
経営学	税務会計	2			2	法	企業関係法		消費者保護法	2			2				
	予算統制	4			4			法	労働法	4			4				
経営学	標準原価計算	4			4	法	企業関係法		社会労働法	2			2				
	財務管理論	4			4			法	国際取引法	4			4				
経営学	監査論	4			4	法	企業関係法		国際経済組織論	4			4				
	経営分析	2			2			法	国際法総論	2			2				
経営学	コンピュータ会計	2			2	法	企業関係法		国際政治学	4			4				
	情報システム論	4			4			法	社会学	4			4				
経営学	経営数学	4			4	法	企業関係法		社会心理学	4			4				
	経営統計	4			4			法	産業社会学	2			2				
経営学	経営科学概論	4			4	法	企業関係法		演習	4			4				
		4			4			法	卒外業論	6			6				
経営学		4			4	法	企業関係法		外国書講読	4			4				
		4			4			法	備考								

備考
 1 卒業論文の提出は、演習を履修した者に限る。
 2 この表に掲げる授業科目のほか、特殊講義を設けることができる。

経営学科																	
系列	授業科目				単位数				系列	授業科目				単位数			
	開設	必修	選択	必修	選択	開設	必修	選択		必修	選択	開設	必修	選択	必修	選択	
経済学系	第1期	経済原論	数理経済	原論	I学	4			4	4	経営学系	経営史	4			4	
		資源	経済	論	学	4			4	4		経営環境論	4			4	
		経済	変動	論	論	4			4	4		経営環境論	4			4	
	第2期	経済原論	経済学	原論	II学	4			4	4		国際経営論	国際金融論	4			4
		世界	経済	論	論	4			4	4			国際貿易論	4			4
		現代	経済	分析	論	4			4	4			国際投資論	4			4
	経済史	経済史	西洋	論	論	4			4	4		人事管理論	労働管理	4			4
		日本	経済	史	史	4			4	4			経営社会学	4			4
		経済史	日本	論	論	4			4	4			人間関係論	4			4
	経済政策	経済政策	社会	論	論	4			4	4		経営実務論	経営実務	4			4
農業		政策	策	策	4			4	4	経営機械論	4				4		
工業		政策	策	策	4			4	4	電子計算機論	4				4		
金融論	金融論	金融	論	論	4			4	4	基礎法	民法	4			4		
	銀行	政策	論	論	4			4	4		刑法	2		4			
	金融	政策	論	論	4			4	4		外国法	4		4			
財政学	財政学	地方	論	論	4			4	4	経営実務論	英語	2			2		
	財政	政策	策	策	4			4	4		コンピュータ実習	2			2		
	租税	論	論	論	4			4	4		基礎法	4		4			
統計学	統計学	統計	学	学	4			4	4	基礎法	民法	4		4			
	経済	地理	学	学	4			4	4		刑法	2		4			
	日本	産業	論	論	4			4	4		外国法	4		4			
経営学系	経営学	経営	論	論	4		4	4	4	基礎法	行政	4		4			
	組織	論	論	論	4		4	4	4		不動産	4		4			
	管理	論	論	論	4		4	4	4		契約	4		4			
流通論	流通論	流通	論	論	4			4	4	基礎法	損害賠償	4		4			
	倉庫	論	論	論	2			2	2		債権担保	4		4			
	リスク	論	論	論	4			4	4		企業法	4		4			
財務会計	財務会計	会計	学	学	4			4	4	基礎法	会社法	4		4			
	簿記	学	学	学	4		4	4	4		商取引法	4		4			
	工業	学	学	学	2		2	2	4		海商法	4		4			
管理会計	管理会計	標準	論	論	4			4	4	基礎法	証券法	4		4			
	財務	論	論	論	4			4	4		証券取引法	2		2			
	監査	論	論	論	4			4	4		倒産関係法	4		4			
経営工学	経営工学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	民事訴訟	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		強制執行	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		企業法	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	消費者保護	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		労働法	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会保障	2		2			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	国際取引法	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		国際経済組織	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		国際政治学	2		2			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	国際政治学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			
	システム	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
	統計	論	論	論	4			4	4		社会学	4		4			
経営学系	経営学	情報	論	論	4			4	4	基礎法	社会学	4		4			

経営法学科

系 列	授 業 科 目				単 位 数				系 列	授 業 科 目				単 位 数					
					開 設	必 修	選 択	必 修						選 択	開 設	必 修	選 択	必 修	選 択
系 列	第 一 原 論	経 済 原 論 I	学 史 論	4			4		系 列	經 營 史 論	4			4					
		数 理 經 済 論	学 史 論	4			4			經 營 環 境 論	4			4					
		資 源 經 済 變 動 論	学 史 論	4			4			產 業 公 害 論	4			4					
	第 二 原 論	經 済 原 論 II	学 史 論	4			4		系 列	社 会 シ ス テ ム 分 析	4			4					
		經 済 学 史 論	学 史 論	4			4			消 費 者 行 動 論	2			2					
		世 界 經 済 分 析	学 史 論	4			4			國 際 金 融 論	4			4					
	經 濟 史	現 代 經 済 分 析	学 史 論	4			4		系 列	國 際 經 營 論	4			4					
		經 済 史 總 論	学 史 論	4			4			國 際 貿 易 理 論	4			4					
		西 洋 經 済 史	学 史 論	4			4			國 際 投 資 論	4			4					
	經 濟 政 策	日 本 經 済 史	学 史 論	4			4		系 列	多 國 籍 企 業 論	4			4					
		經 済 政 策 總 論	学 史 論	4			4			勞 務 管 理	4			4					
		社 会 政 策	学 史 論	4			4			經 營 社 会 学	4			4					
	金 融 論	農 工 業 政 策	学 史 論	4			4		系 列	人 事 管 理 論	4			4					
		金 融 策 論	学 史 論	4			4			經 營 實 務 總 論	4			4					
		金 銀 景 氣 論	学 史 論	4			4			經 營 機 械 化 論	4			4					
	財 政 学	融 政 策 論	学 史 論	4			4		系 列	電 子 計 算 機 論	4			4					
		財 政 学 總 論	学 史 論	4			4			貿 易 實 務 語	4			4					
		地 方 財 政 策	学 史 論	4			4			コ ン ピ ュ ー タ ー 実 習	2			2					
統 計 学	財 政 税 論	学 史 論	4			4		系 列	公 法 總 論	4			4						
	統 計 学 總 論	学 史 論	4			4			基 礎 法	4	4		4						
	統 計 学 論	学 史 論	4			4			刑 法 總 論	2			2						
經 濟 地 理 学	日 本 經 済 事 情	学 史 論	4			4		系 列	外 国 法 總 論	4			4						
	海 外 經 済 事 情	学 史 論	4			4			政 治 学	4			4						
	經 營 学 總 論	学 史 論	4			4			不 動 産 法	4			4						
經 營 学	經 營 組 織 論	学 史 論	4			4		系 列	契 約 法 法	4			4						
	生 産 管 理 論	学 史 論	4			4			損 害 賠 償 法	4			4						
	企 業 論	学 史 論	4			4			債 權 担 保 法	4			4						
流 通 論	企 業 論	学 史 論	2			2		系 列	會 社 法	4	4		4						
	流 通 總 論	学 史 論	4			4			商 取 引 法	4			4						
	マ ー ケ テ イ ン グ 論	学 史 論	4			4			保 險 ・ 海 商 法	4			4						
財 務 會 計	倉 庫 論	学 史 論	2			2		系 列	有 価 証 券 法	4			4						
	リ ス ク ・ マ ネ ジ ム ン ト 論	学 史 論	4			4			証 券 取 引 法	2			2						
	保 險 論	学 史 論	4			4			民 事 訴 訟 法	4			4						
管 理 會 計	交 通 論	学 史 論	4			4		系 列	倒 産 関 係 法	4			4						
	會 計 学 總 論	学 史 論	4			4			經 済 整 理 法	4			4						
	簿 記 学 論	学 史 論	4			4			社 会 法	4			4						
經 營 工 学	工 業 會 計	学 史 論	2			2		系 列	消 費 者 保 護 法	2			2						
	税 務 會 計	学 史 論	4			4			勞 働 保 障 法	4			4						
	予 算 統 制	学 史 論	4			4			社 会 保 障 法	2			2						
管 理 會 計	標 準 原 価 計 算	学 史 論	4			4		系 列	國 際 取 引 法	4			4						
	財 務 管 理 論	学 史 論	4			4			國 際 經 濟 組 織 法	4			4						
	監 査 論	学 史 論	4			4			國 際 法 總 論	2			2						
經 營 工 学	經 営 分 析	学 史 論	2			2		系 列	國 際 政 治 学	4			4						
	コ ン ピ ュ ー タ ー 會 計	学 史 論	2			2			社 会 学 總 論	4			4						
	情 報 シ ス テ ム 論	学 史 論	4			4			社 会 心 理 学	4			4						
經 營 工 学	經 営 統 計	学 史 論	4			4		系 列	産 業 社 会 学	2			2						
	經 営 統 計	学 史 論	4			4			演 習	4			4						
	經 営 科 学 概 論	学 史 論	4			4			卒 業 論 文 講 読	6			6						

備 考

- 1 卒業論文の提出は、演習を履修した者に限る。
- 2 この表に掲げる授業科目のほか、特殊講義を設けることができる。

別表第2

単位修得方法

区分	経済学科		経営学科		経営法学科	
	授業科目	単位	授業科目	単位	授業科目	単位
必修科目	経済原論 I 経済原論 II	4 4	経営学総論 簿記学	4 4	私法総論 会社法	4 4
計		8		8		8
選択必修科目	経営学総論 会社法	4 } 4 } ①	経済原論 I 経済原論 II 経済史総論 経済政策総論 私法総論 会社法	4 } 4 } 4 } 4 } 4 } 4 } ②	経済原論 I 経済原論 II 経済史総論 経済政策総論 経営学総論 簿記学	4 } 4 } 4 } 4 } 4 } 4 } ③
計		4		12		12
選択科目	経済学系 経営学系 経営法学科 その他	28 8) 8) ④ 28以上	経営学系 経済学系 経営法学科 その他	28 8) 8) ④ 20以上	経営法学科系 経済学系 経営学系 その他	28 8) 8) ④ 20以上
計		72以上		64以上		64以上
合計		84以上		84以上		84以上

注 ①：1科目を選択必修科目とし、他の科目は、選択科目とする。
 ②：2科目を選択必修科目とし、他の科目は、選択科目とする。
 ③：社会学の授業科目の単位は、4単位までをいずれかの系列の単位に含めることができる。



富山大学工学部規則の一部改正

富山大学工学部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和55年 9月19日

富山大学長 柳田 友道

富山大学工学部規則の一部を改正する規則

富山大学工学部規則（昭和25年12月15日制定）の一部を次のように改正する。

別表機械工学科の表の専攻科目中

「|○機械工学設計製図第2|5||」を「|○機械工学設計製図第2|3||」に改め、「|○機械工学設計製図第3|2||」を削る。

附 則

- 1 この規則は、昭和55年10月1日から施行する。
- 2 昭和54年度以前の専門教育課程移行者については、なお従前の例による。



富山大学教養部規則の一部改正

富山大学教養部規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和55年 9月19日

富山大学長 柳田 友道

富山大学教養部規則の一部を改正する規則

富山大学教養部規則（昭和42年4月1日制定）の一部を次のように改正する。

別表中

「

外国語科目	英 語	英 語	8
		英 会 話	3
	ド イ ツ 語	ド イ ツ 語	8
		ド イ ツ 語 会 話	2
	フ ラ ン ス 語	フ ラ ン ス 語	8
	中 国 語	中 国 語	8
	ラ テ ン 語	ラ テ ン 語	2
		ロ シ ア 語	2

を

「

外国語科目	英 語	英 語	8
		英 合 話	3
	ド イ ツ 語	ド イ ツ 語	8
		ド イ ツ 語 会 話	2
	フ ラ ン ス 語	フ ラ ン ス 語	8
	中 国 語	中 国 語	8
	ラ テ ン 語	ラ テ ン 語	2
		ロ シ ア 語	2
	朝 鮮 語	2	

に改める。

附 則

この規則は、昭和55年10月1日から施行する。

富山大学文書決裁規則の一部改正

富山大学文書決裁規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。

昭和55年 9 月27日

富山大学長 柳田 友道

富山大学文書決裁規則の一部を改正する規則

富山大学文書決裁規則（昭和48年12月21日制定）の一部を次のように改正する。

第1条を次のように改める。

（趣 旨）

第1条 この規則は、富山大学文書処理規則第9条第2項の規定に基づき、文書の決裁について必要な事項を定める。

第6条を次のように改める。

第6条 削除

別表第1の決裁事項中

1 法令等に基づく学長への内申、協議、承認等の申請及び報告 2 予算に関するもののうち、重要なもの 3 学外に対する各種照会及び回答のうち、重要なもの 4 前各号に掲げるもののほか、部局長の名義を用いることが 適当と認められるもの	学 部 長 教 養 部 長 附 属 図 書 館 長
---	---------------------------------

の次に

トリチウム科学センターの所掌事務に属するもの（特に重要なものを除く。）	トリチウム科学 センター長
-------------------------------------	------------------

を加える。

別表第2の専決事項中「1ヵ月以上」を「1月以上」に改め、（庶務課関係）の15中「職員の身分証明書等」を「事務局、学生部及び保健管理センターの職員の身分証明書」に改め、（学部、教養部、附属図書館関係）の13中

「各種証明の発行手続き | 学 部 長 |
 | 教 養 部 長 |
 | 附 属 図 書 館 長 | 」 を「身分証明書の発行 | 学長 | 」に改め、15を削り、16を15とし、17及び

18を削り、19以下を次のように改める。

16 専攻生、聴講生及び研究生の入学許可の報告	学 部 長 教 養 部 長	事 務 長	
17 専攻生、聴講生及び研究生の身分証明書並びに在学証明書の交付	学 部 長 教 養 部 長	事 務 長	
（トリチウム科学センター関係）			
1 有給休暇の承認	学 長	トリチウム科学 センター長	
2 産後休に関すること	学 長	トリチウム科学 センター長	
3 非常勤職員の無給休暇の承認	学 長	トリチウム科学 センター長	

4 教員の勤務時間の割振りの承認	学 長	トリチウム科学 センター長
5 教員の研修（センター長並びに引き続き1月 以上にわたる場合及び海外研修を除く。）の承認	学 長	トリチウム科学 センター長
6 超過勤務、休日勤務、夜間勤務の命令	学 長	トリチウム科学 センター長
7 職員の身分証明書の発行	学 長	人文学部・理学 部 事務 長

別表第3を削る。

附 則

この規則は、昭和55年9月27日から施行する。ただし、改正後の別表第1の決裁事項及び別表第2の専決事項中トリチウム科学センターに係る事項については、昭和55年4月1日から適用する。

富山大学における事務の委任に関する規則の制定

富山大学における事務の委任に関する規則を次のとおり制定する。

昭和55年9月27日

富山大学長 柳田 友道

富山大学における事務の委任に関する規則

（趣 旨）

第1条 この規則は、富山大学における事務を能率的に処理するため、事務の委任について定めるものとする。

（事務の委任）

第2条 学長は、学部長、教養部長、トリチウム科学センター長及び保健管理センター所長（以下「学部長等」という。）に学長の権限の一部を行わせるため、次の事務を委任する。ただし、トリチウム科学センター長並びに保健管理センター所長にあつては第2号及び第3号の事務を除く。

- (1) 科学研究費補助金研究分担者の承諾に関する事務
- (2) 学生の在学証明に関する事務
- (3) 卒業（見込みを含む。）証明及び修了（見込みを含む。）証明に関する事務

（事務の処理）

第3条 学部長等は、与えられた職務権限の範囲内で自らの責任において前条に規定する事務を処理するものとする。

附 則

この規則は、昭和55年9月27日から施行する。



諸 会 議

昭和55年度第3回大学院委員会（9月19日）

（審議事項）

- (1)昭和56年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及び工学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (2)昭和56年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）推薦入学者の選考について

昭和55年度第5回評議会（9月19日）

（報告事項）

- (1)教官人事について
- (2)昭和56年度富山大学大学院理学研究科（修士課程）及

- び工学研究科（修士課程）入学試験合格者の判定について
- (3)昭和56年度富山大学大学院工学研究科（修士課程）推薦入学者の選考について
- (4)短期高等教育機関（高岡）創設準備調査について

（審議事項）

- (1)富山大学学則の一部改正について
- (2)富山大学経済学部規則の一部改正について
- (3)富山大学工学部規則の一部改正について
- (4)富山大学教養部規則の一部改正について
- (5)昭和55年9月卒業の認定について

人 事 異 動

異動区分	発令年月日	氏 名	異動前の所属官職	異 動 内 容	任命権者
採 用	55. 8. 1	奥 村 文 子		事務補佐員（附属図書館）	富山大学長
	〃	津 幡 慶 子		〃（工学部分館）	〃
	55. 9. 1	安 村 千 恵 子		臨時用務員（教育学部炊婦）	〃
	〃	栗 林 繁 治		〃（作業員）	〃
	〃	竹 森 義 雄		事務補佐員（附属図書館）	〃
	〃	藤 木 彌 三 郎		〃（ ）	〃
	55. 9. 16	芳 賀 健 一		講師（経営短期大学部）	富山大学経営短期大学部学長
	55. 9. 18	朽 木 令 子		事務補佐員（人文学部・理学部）	富山大学長
昇 任	55. 8. 19	畠 脩 三	助教授（教養部）	教授（教養部）	文 部 大 臣
転 任	55. 8. 16	北 村 均	文部事務官（名古屋大学工学部総務課）	文部事務官（富山大学人文学部・理学部）	富山大学長
臨時的任用	55. 8. 16	林 悦 子		教諭（教育学部附属幼稚園）	〃
併 任	55. 9. 30	山 崎 佳 夫	教授（経済学部）	経済学部長(55.9.30～57.9.29)	文 部 大 臣
退 職	55. 8. 1	竹 内 睦 美	事務補佐員（附属図書館）	昭和55年7月31日限り退職	富山大学長
	〃	安 村 千 恵 子	臨時用務員（教育学部炊婦）	〃	〃
死 亡	55. 8. 6	村 澤 巖	文部事務官（経済学部学務係長）		
	55. 8. 20	畠 脩 三	教授（教養部）		

学 内 諸 報

経済学部長の改選

植村元覚経済学部長の任期が昭和55年9月29日に満了するため、経済学部教授会は8月27日に次期学部長候補者の選挙を行い、その結果、山崎佳夫教授が選出された。

山崎佳夫教授は、昭和20年10月神戸経済大学を卒業、同21年8月富山県立第二高等女学校に奉職して以来、同29年4月富山大学経済学部助手、同31年4月同講師、同34年11月同助教授、同46年8月同教授を経て、現在に至っている。

この間、富山大学経営短期大学部主事（2期）及び評議員等を歴任した。

専門は会計学 富山県出身

富山大学公開講座

昭和55年度富山大学公開講座が、人文学部、教養部でそれぞれ下記のとおり開催された。

人文学部公開講座

講座の名称 東アジアと日本 —歴史と文化—
 開設期間 昭和55年9月8日～9月20日（10日間）
 18時～20時（但し20日(土)は14時～17時）
 対 象 一般市民（受講者数 47名）
 講義内容

講 師	題 名
楠瀬 勝	東アジアと日本の課題
藤本 幸夫	朝鮮印刷文化と日本
山口 博	古代和歌と中国詩
長沼忠兵衛	ある西欧人のみた東アジア
三宝 政美	中国近代文学に見える日本人像
秋山 進午	古代北東アジアの民族と文化
鎌田 元一	日本古代国家の形成過程
永田 英正	古代中国と日本
夫馬 進	中国前近代における地方自治と地方議会
梶井 陟	朝鮮語と日本語と

教養部公開講座

講座の名称 郷土とやま —文化と自然—
 開設期間 昭和55年9月16日～12月9日
 （毎週火、木）24日間 18:00～20:00
 対 象 一般市民（約100名）
 講義内容

講 師	題 名
秋山 進午	先史原史時代のとやま
梅原 隆章	とやまの宗教（立山と信仰）
桂木 健次	とやまの開発と土地利用
藤井 昭二	とやまの地形地質
木越 治	万葉集のなかのとやま
小島 覚	植生からみたとやま
相原 茂	とやまの言葉
三原 健一	〃
和崎 洋一	文明と郷土
二神 弘	北陸における都市化と都市再開発
鈴木 邦雄	とやまの動物相
藤森 勉	とやまの地場産業
稲垣 保彦	とやまにおける余暇環境
河野 昭一	北陸の植物相
全 員	パネルディスカッション

富山大学事務職員研修

新任事務職員を対象とした昭和55年度富山大学事務職員研修が、8月26日(火)から8月29日(金)までの4日間本部会議室で行われた。

この研修は、新採用職員に対して国家公務員の使命と心構えを自覚させると共に、大学行政に共通して必要な職務遂行上の基礎的な知識、技能、態度を養成し、併せて富山大学職員としての一体感を培うことを目的としたもので受講者及び研修日程は次のとおりである。

受 講 者

庶務部	文部事務官	高見 明子	教育学部	文部事務官	稲垣 克己
"	"	朝野 真	経済学部	"	松本 修一
経理部	"	佐藤 淳	"	"	武田 正夫
"	文部技官	蘆田 完	工学部	"	石橋 英二
人文学部・理学部	文部事務官	寺澤 達範	"	文部技官	山本 辰美
"	"	永井 昭光	"	"	佐野 博
"	"	中三川敏之	教養部	文部事務官	安川 範昭
"	"	寺林 忠男	附属図書館	"	宮崎 康之



研 修 日 程

時間 月日	9 : 00	10 : 00	11 : 00	12 : 00	13 : 00	14 : 00	15 : 00	16 : 00	17 : 00
8月26日(火)	閉 講 式	自 己 紹 介	「訓 話」 事務局長	「行政組織と これからの 大学行政」 庶務部長		執務の基礎知識(Ⅰ) 富山大学の概況 (沿革と組織) 施設課長	執務の基礎知識(Ⅰ) 施設状況 施設課長	執務の基礎知識(Ⅱ) 大学関係法令と学内規則 庶務課学事調査係長	
8月27日(水)	執務の基礎知識(Ⅲ) 接遇の知識と技術 庶務課庶務係長					公務員制度(Ⅰ) 給与・退職手当・災害保障 人事課給与係長	公務員制度(Ⅱ) 共 濟 組 合 (短期給付) (長期給付) 経理課給与係長	公務員制度(Ⅲ) 任用・分限・保障 人事課任用係長	
8月28日(木)	「国の予算の しくみと 富山大学の予算」 経理部長		「厚生補導の 理論と実際」 学生部次長			執務の基礎知識(Ⅳ) 学部事務について 経済学部事務長	執務の基礎知識(Ⅴ) 公文書の管理について (文書事務の進め方) 庶務課文書係長	公務員制度(Ⅳ) 公務員制度(Ⅳ) 服務・能率・懲戒	
8月29日(金)	「座 談 会」			「作 文」		執務の基礎知識(Ⅵ) 人事管理 などについて 人事課長		ア ン ケ ー ト	閉 講 式

研

修

海外渡航者

55年 8・9月

渡航の種類	所属	官職	氏名	渡航先国	目的	期間
外国出張	人文学部	助教授	赤坂 賢	ザイール共和国, ケニア	昭和55年度科学研究費補助金（海外学術調査）の研究分担者として「スワヒリ語圏における多言語使用と『スワヒリ化』に関する調査」に従事のため	55. 9. 15 } 56. 3. 9
	"	講師	和田 晴吾	連合王国, アイルランド	昭和55年度科学研究費海外学術調査の分担者として西北ヨーロッパにおける長形墳・円形墳の比較考古学的研究のため	55. 8. 11 } 55. 10. 11
	教育学部	教授	中谷 唯一	フランス, 連合王国, オランダ, ベルギー, 西ドイツ, スペイン, イタリア, ギリシア	彫塑研究（人体制作の研究）のため	55. 8. 20 } 55. 10. 19
	"	助教授	森 博	ブラジル, アメリカ合衆国	極小部分多様体の安定性についての研究のため	55. 8. 13 } 55. 11. 30
	"	附小教諭	中井 毅	ドイツ民主共和国, ベルギー, アメリカ合衆国, カナダ	欧米諸国の教育, 文化, 社会事情を視察し, 今後の教育活動の資とするため	55. 9. 9 } 55. 10. 8
	理学部	教授	堀越 叡	インドネシア	技術指導のため	55. 8. 26 } 55. 9. 16
	工学部	助教授	小林 信之	ソビエト連邦	第6回国際結晶成長会議出席・講演及びソ連における結晶成長に関する研究所視察のため	55. 9. 9 } 55. 9. 21
	教養部	"	奥原 宇	連合王国, アイルランド共和国, アメリカ合衆国	近代英文学及び文学研究法の調査研究のため	55. 9. 27 } 56. 7. 26
海外研修旅行	人文学部	"	藤本 幸夫	大韓民国	朝鮮古刊本の調査のため	55. 9. 19 } 55. 10. 19
	"	講師	夫馬 進	中華人民共和国	明清史国際学術会議出席及び史蹟見学・研修のため	55. 8. 4 } 55. 8. 22
	理学部	教授	小林 貞作	中華人民共和国	中国河南省におけるゴマ開発研究協力のため	55. 9. 1 } 55. 9. 9
	工学部	助教授	坂井 純一	アメリカ合衆国	電流層における力学過程及び構造の研究のため	55. 8. 28 } 56. 8. 27

全国公務員レクリエーション共同事業富山地区

ソフトボール大会

実施月日 昭和55年 9月30日(火)
場 所 富山県営軟式球場

成 績 優 勝 富山刑務所
準 優 勝 富山大学Aチーム
三 位 " B "
" 富山医科薬科大学Aチーム

計 報

教養部教授 島 脩三氏逝去

教養部教授 島 脩三氏は、脳卒中のため、8月20日逝去されました。

享年 52才

ここに御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

島教授は、昭和33年3月学習院大学理学部物理学科を卒業、同年5月富山大学文理学部教職員として着任され、同39年3月同助手、同42年10月富山大学講師、同52年4月同助教授、同55年8月同教授に昇任された。

この間22年余りの永きにわたり終始懇篤なる温情をもって一般教育課程の指導にあられた。

また、同教授は、物理学者として数多くの学術論文を発表されているが、特に「ひげ結晶の成長と物性」は日本結晶成長学会において、鉄ひげ結晶の成長の機構とその物性を解明することに多大の貢献をしている。

文部事務官 村沢 巖氏逝去

経済学部学務係長 村沢 巖氏は、病気療養中のところ8月6日逝去されました。

享年 40才

ここに御冥福を祈り、謹んで哀悼の意を表します。

村沢係長は、昭和34年1月富山大学教育学部に採用され、昭和45年4月文理学部、同46年8月教養部庶務主任に昇任、昭和51年5月同部学務係長に昇任、同55年4月経済学部学務係長に配置換えとなり、この間21年7ヶ月一貫して持前の適切な判断力と責任感をもって職務を全うされ、常に本学の中堅職員の範として今後の活躍が期待されていただけに、その急逝が惜しまれている。

職 員 消 息

《新任者》

附属図書館

事務補佐員 奥村文子

〃 津幡慶子

《改 姓》

経済学部

助 手 米原俊孝 (旧姓 内免)

《住所変更》

経 理 課

文部事務官 高野俊英

施 設 課

文部事務官 武田勇夫

人文学部

教 授 石田安弘

教育学部

教 授 藤井敏孝

助 教 授 奥村義雄

文部事務官 小林 司

経済学部

文 部 技 官 金 田 稔

工 学 部

教 授 三上房男

助 教 授 小林信之

助 手 上羽 弘

文部事務官 地崎 昇

文 部 技 官 山 田 茂

教 養 部

助 教 授 鈴木邦雄

主 要 日 誌

本 部

- 8 月
- 7～8日 昭和55年度北陸4大学課外活動担当者研修会
(於金沢大学辰口共同研修センター)
- 14日 給与勤告説明会(於名古屋国税局)
- 21～22日 12大学経理部長会議(於金沢大学)
- 26～29日 中部地区学生補導厚生研究会東海・北陸地区研
修会(於岐阜大学)
- 28～29日 短期高等教育機関(高岡)創設準備調査のため
の伝統工芸に関する教育課程等検討協力者会議
(於富山大学)
- 9月4日 新学習指導要領の検討打ち合わせ会
- 6日 会計係長会議
- 9日 第4回入学試験管理委員会
第2回入学者選抜方法研究委員会
- 9～11日 給与実務担当者研修会(於金沢第二合同庁舎)
共済組合監査
- 11日 国立大学学生部次長、課長会議(於東京医科歯
科大学)
- 12日 昭和56年度共通第一次学力試験に関する地区別
情報処理事務連絡会(於名古屋大学)
- 16～17日 第1回全国国立大学学生部長協議会(於岡山大
学)
- 17日 国立41大学庶務部長会議(於筑波大学)
- 18日 第5回入学者選抜方法研究委員会専門委員会
- 19日 第3回大学院委員会
第5回評議会
- 22日 職業補導担当者会議
- 25～26日 昭和55年度長期給付実務研修会(於金沢共済会
館)
- 26日 昭和55年度東海・北陸地区国立大学厚生課長会
議(於愛知教育大学)
- 29日 学務(関係)係長会議
- 10月
- 29～3日 昭和55年度東海・北陸地区国立学校等会計事務
職員研修(於富山大学)
- 30日 第15回東海・北陸地区国立大学事務局長会議
(於三重大学)

文 理 学 部

9月13日 前学期授業終了

人 文 学 部

- 8 月
- 15～31日 昭和55年度公開講座受付
- 21日 予算委員会
- 29日 入試関係検討会議
教育実習委員会
- 9月3日 教授会
- 6日 教授会検討委員会
- 8～20日 公開講座実施
- 10日 将来計画委員会
- 13日 前学期授業終了
- 17日 教授会
人事教授会
- 18日 教務委員会
- 27日 秋のレクリエーション(下呂温泉と乗鞍、平湯
方面)

教 育 学 部

- 8 月
- 23～24日 呉山会レクリエーション(赤倉温泉)
- 24～26日 昭和55年度教員養成大学・学部教官研究集会
(特殊教育)(於国立教育会館)
- 28日 附属小学校第2学期始業式
- 30日 附属中学校第2学期始業式
- 9 月
- 1～3日 昭和55年度教員養成実地指導(事前指導)
- 1日 附属養護学校第2学期始業式
附属幼稚園第2学期始業式
- 6～7日 附属中学校学校祭
- 10日 図書委員会
教務委員会・補導委員会合同会議

補導委員会
教務委員会
教授会

人事教授会

12日 日本教育大学協会第二部会理事会（於東京学芸大学）

12～13日 日本教育大学協会北陸地区第二部会数学研究協議会（於金沢大学）

17日 教務委員会

人事委員会

24日 予算委員会

25日 学部将来計画委員会

経済学部

8月27日 経済学部長候補者選挙
第9回教授会

30～31日 経済学部，経営短期大学部合同レクリエーション（新穂高温泉）

9月8日 第3回学部図書委員会

19日 第11回教務委員会

第3回学部施設整備委員会

第10回教授会

17日 第6回日本海経済研究所運営委員会

18日 第3回各種委員選考委員会

19日 第2回学部補導委員会

20日 第3回財務委員会

24日 第12回教務委員会

第3回人事教授会

第11回教授会

第4回各種委員選考委員会

理学部

8月4日 学部職業補導委員会

9月5日 理学研究科調査書審査

10～11日 理学研究科入学者選抜試験実施

17日 教授会

人事教授会

理学研究科委員会

20日 理学研究科合格者発表

27日 秋のレクリエーション（下呂温泉と乗鞍，平湯方面）

工学部

8月6日 教職員厚生事業運営委員会

23～29日 大学院工学研究科入学願書受付

9月4日 事務連絡会議

9～10日 大学院工学研究科入学試験

12日 学部教務委員会

17日 教授会

工学研究科委員会

19日 大学院工学研究科合格者発表

25日 共通機器運営委員会

27日 前学期授業終了

教養部

8月16日 教授のみの教授会

9月3日 教養部教務委員会

内地・在外研究員に関する委員会

6～7日 親和会レクリエーション（高山方面）

8日 図書委員会

10日 教授会

教授のみの教授会

16日 公開講座開講（12月9日まで）

29日 補導委員会

附属図書館

8月

23～24日 職員レクリエーション（宇奈月温泉）

27日 第30回北信越地区国立大学図書館研修会（於福井大学）

9月5日 学術雑誌総合目録欧文編データ記入説明会（於大阪大学附属図書館吹田分館ホール）

8日 事務打合せ会

10日 事務打合せ会

26日 県内大学高専図書館研究集会（於富山工業高等専門学校）

経営短期大学部

8月

1～2日 国立夜間短期大学事務長会議（於京都工芸繊維

大学工業短期大学部)

6日 教官人事選考委員会

9日 第7回教授会

教官人事選考委員会

30~31日 親睦会レクリエーション (新穂高温泉)

9月1日 授業再開

3日 第8回教授会 (持ち回り)

4日 第1回一般入学選考委員会

5日 国立短期大学協会第2部会 (於熱海市)

8~13日 前学期末試験

25日 第9回教授会



編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 中央印刷株式会社
富山市下奥井1-4-5
電話 ☎ 6572代